



## 2013年度事業報告会

2014年5月19日

【お問合せ先】

株式会社ニチレイロジグループ本社 経営企画部

Tel 03-3248-2175 Fax 03-3248-2130

株式会社ニチレイ 広報部

Tel 03-3248-2235 Fax 03-3248-2233

# 目次

## I. 2013年度の事業報告

1. 企業概要
2. 事業活動の概要
3. 事業概要(セグメント別)

## II. 2014年3月期 決算概要

1. 決算概要
2. 業績の推移

## III. 中期経営計画の進捗状況と2014年度の重点施策

1. 中期経営計画の進捗状況
2. 2014年度の重点施策概要



## I . 2013年度の事業報告

# 1. 企業概要

選ばれつづける仕事。 **N**ニチレイロジグループ

## ① グループ組織体制

(株)ニチレイロジグループ本社(持株会社)

※2014.4.1現在

### 地域保管事業

(株)ニチレイ・ロジスティクス北海道

(株)ニチレイ・ロジスティクス東北

(株)ニチレイ・ロジスティクス関東

(株)キョクレイ

(株)ニチレイ・ロジスティクス東海

(株)ニチレイ・ロジスティクス関西

(株)ニチレイ・ロジスティクス中国

(株)ニチレイ・ロジスティクス四国

(株)ニチレイ・ロジスティクス九州

### 物流ネットワーク事業

#### 3PL事業

(株)ロジスティクス・プランナー

#### 運送・流通・PC事業

(株)ロジスティクス・ネットワーク

(株)NKトランス

#### エンジニアリング事業

(株)ニチレイ・ロジスティクス

エンジニアリング

### 海外事業

#### 欧州事業

Nichirei Holding Holland B.V.

Hiwa Rotterdam

Port Cold Stores B.V.

Eurofrigo B.V.

Thermottraffic Holland B.V.

Thermottraffic GmbH

Frigo Logistics Sp.z o.o.

Transports Godfroy S.A.S

[Entrepots Godfroy S.A.S](#)

#### 中国事業

上海鮮冷儲運有限公司

#### タイ事業(関連会社)

[SCG Nichirei Logistics Co.,Ltd.](#)

※子会社31社 関連会社6社 3

# 1. 企業概要

選ばれつつける仕事。  ニチレイロジグループ

## ②ニチレイロジグループのミッション・ビジョン

### 【ミッション】

食品の物流を通じて、生活者の暮らしに貢献する。

(生活者に新鮮で安全な食品を効率良くお届けする)

### 【基本姿勢】

グループ中核事業として適正な収益を確保する。

常に顧客視点で全体最適を考え物流効率化を実現する。

また、「品質・環境・安全」を最優先の経営課題とする。

### 【事業ビジョン】

食品物流事業者No.1の地位確立に向け、グループ全体が持つ3PL、保管、仕分け、

流通加工、輸送、配送、情報システム等、各機能の有機的な組み合わせにより、

サプライチェーン全体にわたる物流の高度化と効率化を提案しつづける。

# 1. 企業概要

選ばれつづける仕事。  ニチレイロジグループ

## ③ニチレイロジグループのブランドステートメント

●ブランドスローガン

# 選ばれつづける仕事。

●ブランドステートメント



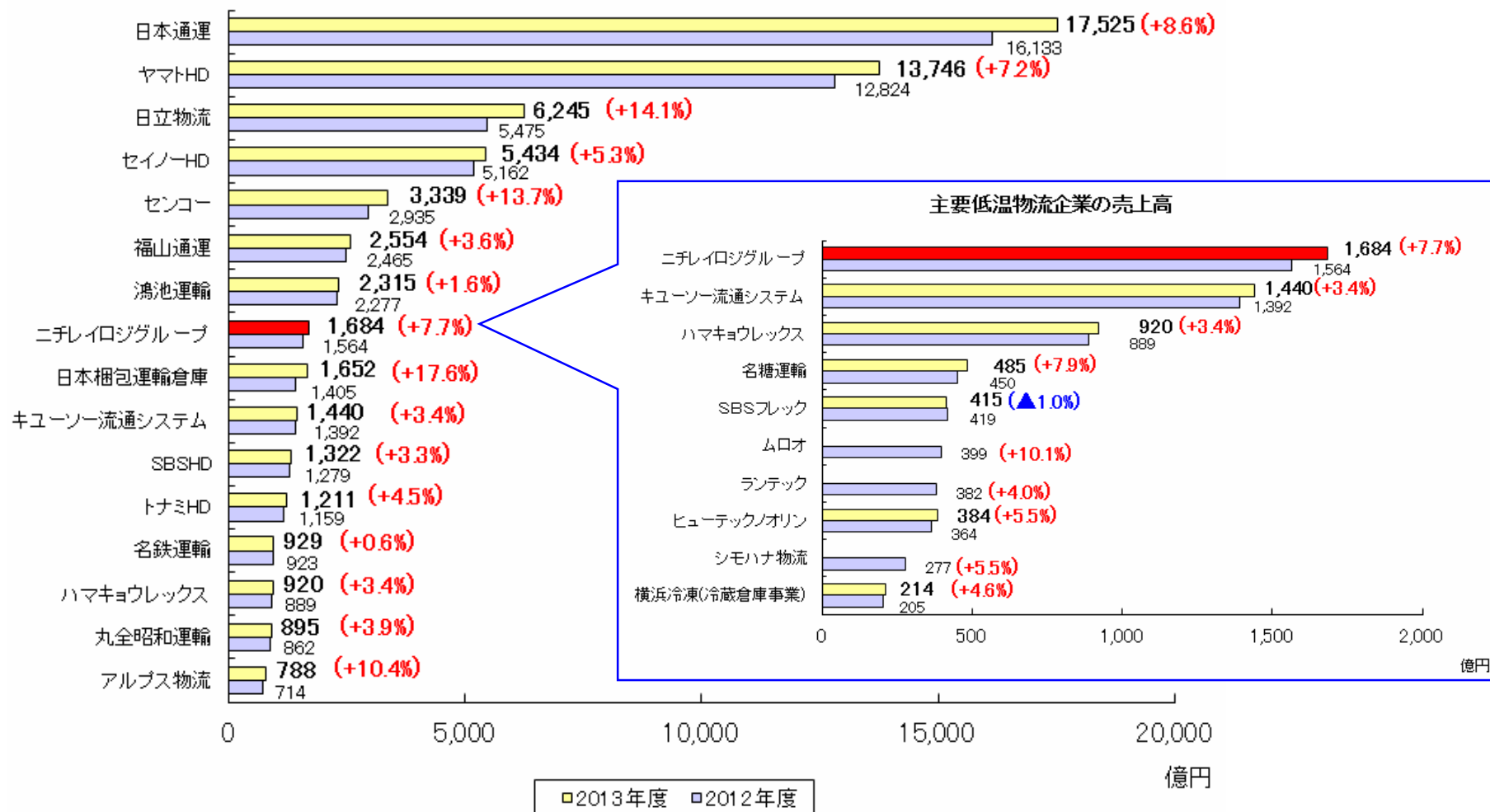
ニチレイロジグループは  
確かな専門知識と総合力に加え、  
社員ひとりひとりの新しい発想と提案力をもって  
これからの低温物流をリードし、  
日本の「食」を支え続けます。

# 1. 企業概要

選ばれつづける仕事。ニチレイロジグループ

## ④ニチレイロジグループのポジション(1)

### 主要物流企業(陸運)の売上高



※トラックによる輸送を主とする物流会社を選定

※各社決算短信(2014年5月15日時点の最新版)における年度実績数値または見込数値を元に作成

# 1. 企業概要

選ばれつづける仕事。  ニチレイロジグループ

## ⑤ニチレイロジグループのポジション(2)

冷蔵倉庫設備能力国内ランキング

※2012年6月現在

順位	会社名	設備能力 (トン)	全国冷蔵倉庫 に対する割合
1	ニチレイロジグループ	1,325,521	9.9%
2	横浜冷凍(株)	723,660	5.4%
3	(株)マルハニチロ物流	574,203	4.3%
4	日水物流(株)	373,399	2.8%
5	東洋水産(株)	339,928	2.5%
6	(株)ヒューテックノオリン	339,910	2.5%
7	五十嵐冷蔵(株)	218,497	1.6%
8	鴻池運輸(株)	217,562	1.6%
9	(株)キューソー流通システム	195,024	1.5%
10	日本物流センター(株)	172,110	1.3%
11	(株)松岡	160,336	1.2%
12	寶船冷蔵(株)	136,615	1.0%
13	第一倉庫冷蔵(株)	132,538	1.0%
14	(株)二葉	127,676	1.0%
15	(株)ハウスイ	123,566	0.9%
16	(株)兵食	113,054	0.9%
17	味の素物流(株)	104,629	0.8%
18	(株)ランテック	98,326	0.7%
19	港湾冷蔵(株)	98,002	0.7%
20	三菱倉庫(株)	96,582	0.7%

※出所: 日本冷蔵倉庫協会統計資料(2012年6月時点の国土交通省データより)  
 ※全国冷蔵倉庫に対する割合は、営業用所管容積より算出

冷蔵倉庫設備能力世界ランキング

※2014年5月現在

	Company	Locations In	Capacity Cubic Meters
1	AmeriCold Logistics Group	United states, etc.	26,902,404
2	Lineage Logistics	United states	14,593,785
3	Swire Group	United states, etc.	8,378,161
4	Preferred Freezer Services	United states, etc.	6,657,287
5	Nichirei Logistics Group, Inc.	Japan, etc.	4,315,673
6	Kloosterboer	Netherlands	3,522,707
7	VersaCold	Canada	3,259,050
8	Partner Logistics	Netherlands	2,860,594
9	Interstate Warehousing, Inc.	United states	2,556,609
10	Cloverleaf Cold Storage Co.	United states	1,840,131
11	Burris Logistics	United states	1,764,974
12	MUK Logistik GmbH	Germany	1,720,500
13	Nordic Logistics and Warehousing, LLC	United states	1,685,671
14	Gruppo Marconi Logistica Integrata	Italy	1,559,999
15	Columbia Colstor, Inc.	United states	1,495,127
16	Frialsa Frigorificos S.A. De C.V.	Mexico	1,457,295
17	Henningsen Cold Storage Co.	United states	1,436,055
18	Congebec Logistics, Inc.	Canada	1,406,212
19	Bring Frigoscandia	Sweden	1,213,300
20	Hanson Logistics	United states	1,118,472

※出所: IARW(世界冷蔵倉庫協会)「Global Top 25 List」



## 2. 事業活動の概要

### ①売上高及び営業利益の推移(実績)

海外事業と物流ネットワーク事業の牽引により、売上高は大幅に伸長。

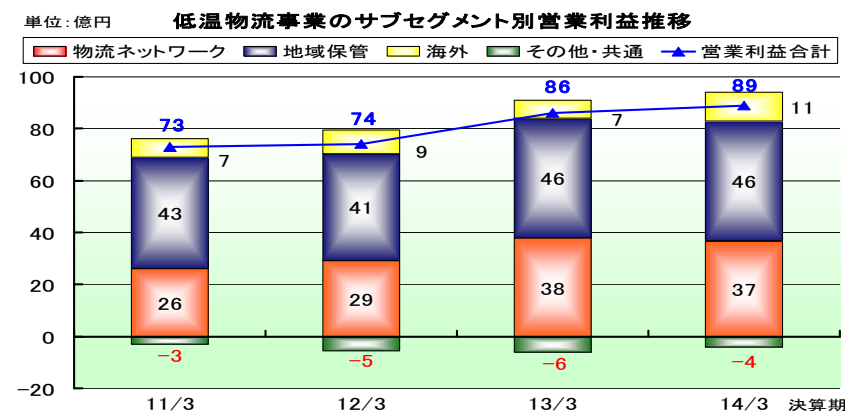
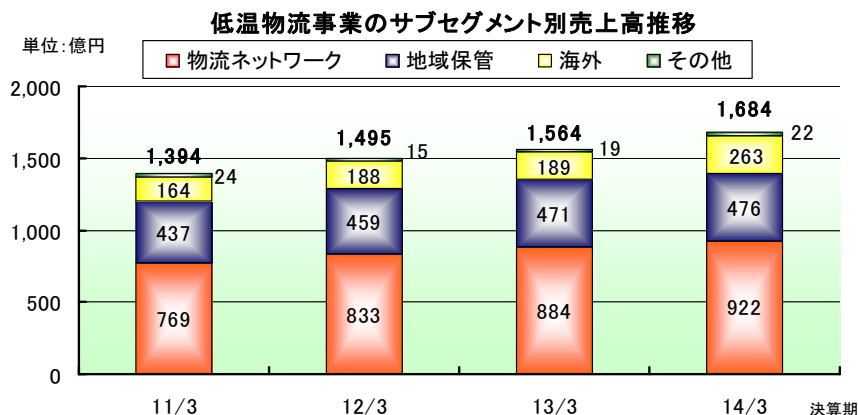
利益面では、大型新拠点稼働に伴う減価償却費の増加や電力料金・車両調達コスト上昇などの影響があったものの、増収効果や効率化の進展、為替影響などが寄与して増益。

【売上高】1,684億円、前期比+120億円、伸長率+7.7%  
 (国内:1,420億円、前期比+46億円、伸長率+3.3%)  
 【営業利益】 89億円、前期比+4億円、伸長率+4.4%  
 (国内:78億円、前期比▲0億円、伸長率▲0.0%)

物流ネットワーク事業は、新規TC案件の稼働や幹線輸送の取扱増加、3PLの新規顧客獲得などが寄与して増収。一方、利益面では、新設センター稼働に伴う減価償却費の増加や、トラック乗務員の不足および燃油価格の上昇などに伴う車両調達コストの増加などにより減益。

地域保管事業は、地域密着営業の着実な積み重ねや運送を絡めた提案営業の強化に取り組み増収を確保したものの、電力料金上昇の影響などにより営業利益は前期並み。

欧州地域では、景気低迷が長期化するなかで、ロシア・東欧向けクロスボーダー輸送やロッテルダム港における果汁・チキンなどの主力商材の取扱が伸長。ユーロ高によるプラスの効果も寄与して増収・増益。



※海外為替レート 11/3・・・EUR:116.4、PLN:29.2、CNY:13.0  
 12/3・・・EUR:111.1、PLN:27.2、CNY:12.4  
 13/3・・・EUR:102.6、PLN:24.6、CNY:12.7  
 14/3・・・EUR:129.7、PLN:30.9、CNY:15.9

### 3. 事業概要(セグメント別)

## ①-1 物流ネットワーク事業<全体>

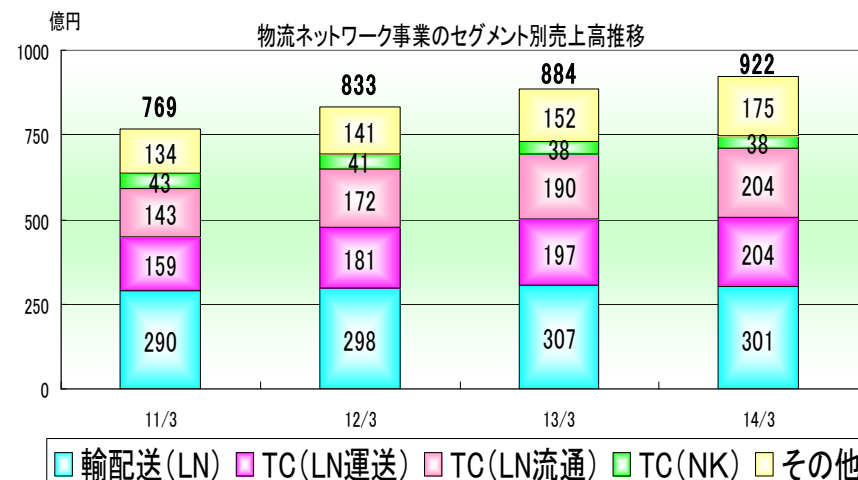
<ロジスティクス・ネットワークを中心に、好調な売上高推移でグループ全体の成長を牽引>

【2013年度業績のポイント】

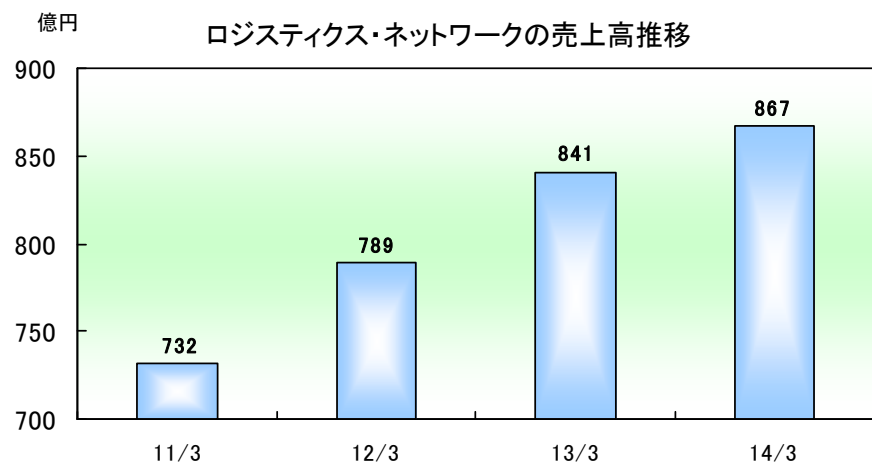
《全体》

■売上高 : 922億円(前期比+38億円、伸長率+4.3%)  
 ■営業利益: 37億円(前期比▲2億円、伸長率▲4.2%)

- ・ TC事業の新規受託や既存顧客の取扱拡大に加え、3PL事業も好調に推移して大幅な増収を達成。グループの全体業績を牽引。
- ・ 大型旗艦拠点ロジスティクス・ネットワーク東扇島物流センターの稼働により、関東港湾地区における輸配送拠点の整備が進展。一方、新設投資の影響で減価償却費負担が増加。
- ・ 地方エリアでは、中国・四国地区の運送事業所を地域保管事業各社へ移管。地域各社の強みである営業力・情報力と物流ネットワークの強みである輸配送機能を融合し、グループ運送事業の拡大を推進。



※その他: 3PL事業および一部保管事業収入とサブセグ間の売上消去を含む  
 ※14/3の輸配送は地域保管事業への移管分(約9億円)を含まない



# 3. 事業概要(セグメント別)

## ①-2 物流ネットワーク事業<運送>

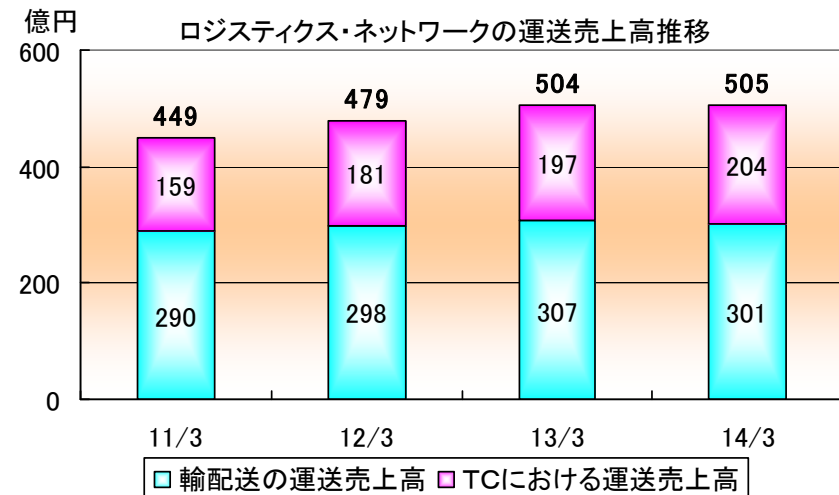
<運送需要を着実に取り込み、TCにおける運送や全国幹線輸送を中心として堅調に推移>

【2013年度業績のポイント】

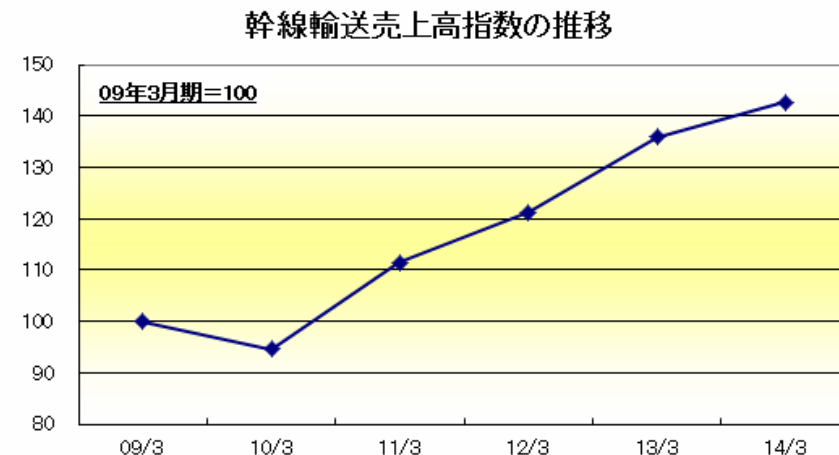
### 《運送総合》

■売上高: 505億円(前期比+1億円、伸長率+0.2%)

- ・ 運送総合では、TCにおける運送や全国幹線輸送を中心として取扱を拡大するも、事業所移管の影響もあり売上高は前期並みに。
- ・ TC運送については、前期から当期にかけて稼動した新設センターの貢献や、常温を含む3温度帯への対応などによる取扱拡大で大幅な増収を達成。
- ・ 輸配送については、大都市圏への貨物集中などを背景として幹線輸送の取扱が伸長したものの、中国・四国エリアの運送事業所を地域保管事業へ移管した影響などにより、前期比では減少。



※14/3の輸配送は地域保管事業への移管分(約9億円)を含まない



# 3. 事業概要(セグメント別)

## ①-3物流ネットワーク事業<TC・3PL>

<TC・3PLともに旺盛な需要を取り込んで好調に推移し、グループ全体の成長を牽引>

【2013年度業績のポイント】

《TC・3PL総合》

■売上高: 621億円(前期比+44億円、伸長率+7.6%)

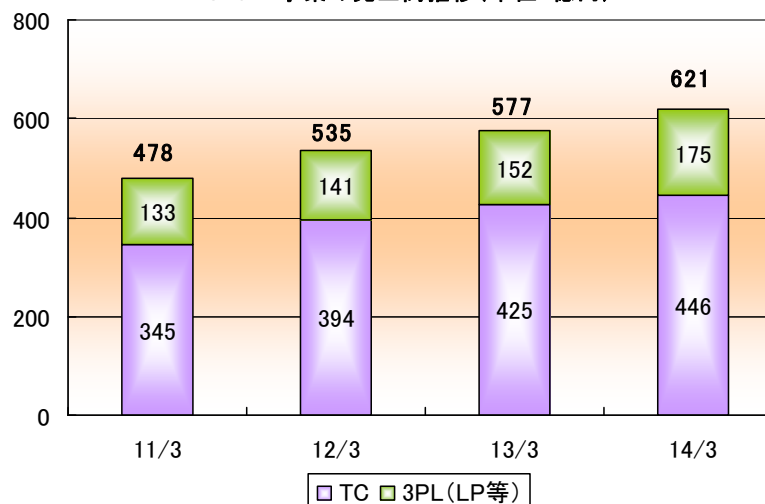
(TC)

- ・ 前期および今期に稼働したドラッグストアや地域有力量 販店向けの新拠点が好調に推移。既存顧客の取扱拡大もあり、大幅な増収を達成。
- ・ 引き続き既存顧客を中心に、従来の生鮮品に加えて常温品・冷凍品の取り込みや調達物流の取扱拡大に注力。

(3PL)

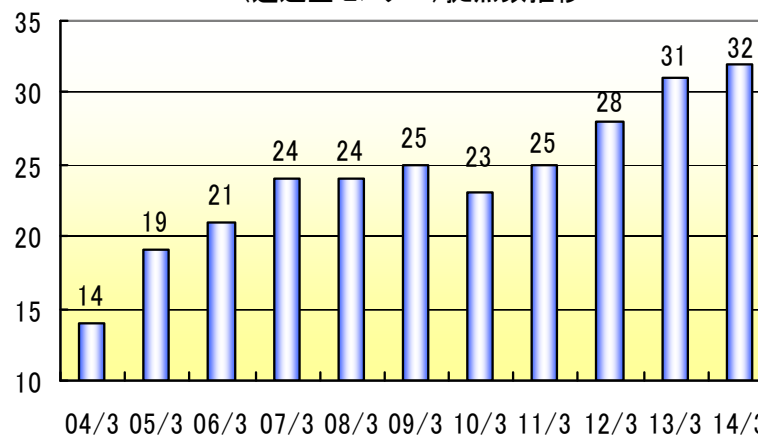
- ・ 新たに複数の大手外食チェーンから物流改善案件を受託して大幅に伸長。
- ・ 全国エリアで外食共配プラットフォームの整備が進展。新規顧客の開拓を加速。
- ・ 引き続き顧客に深く入り込む高度なコンサルティング能力(LLP)を活かし、新規大口顧客の獲得を推進。

TC・3PL事業の売上高推移(単位: 億円)



(カ所)

TC(通過型センター)拠点数推移



# 3. 事業概要(セグメント別)

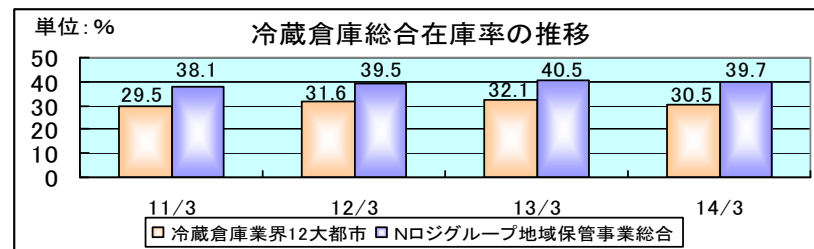
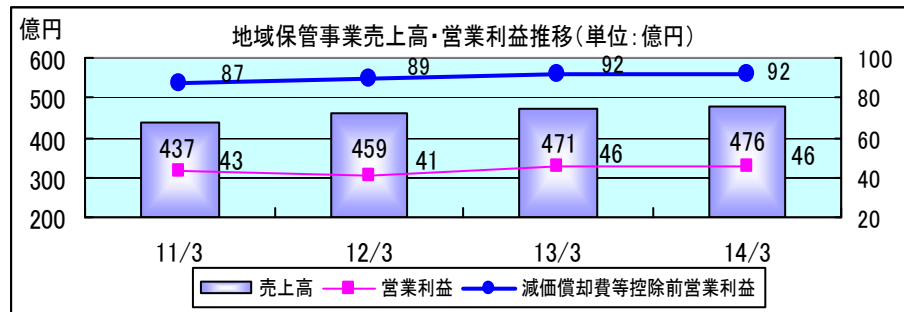
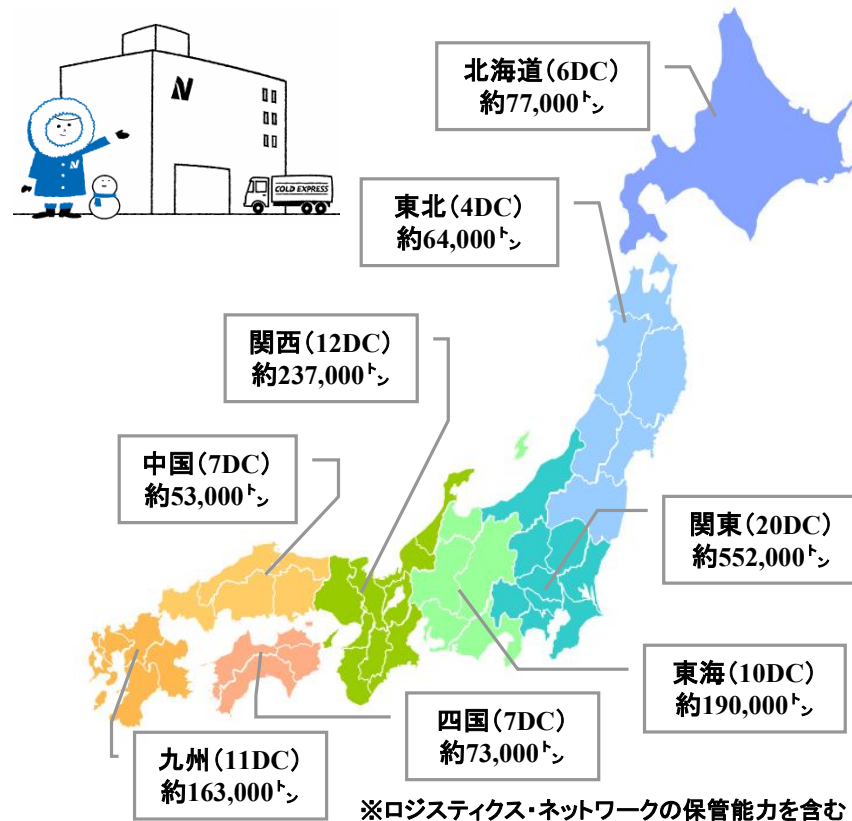
## ②-1 地域保管事業

＜関東・関西港湾地区を中心に、各地で需要を着実に取り込み高水準の取扱を確保＞

【2013年度業績のポイント】

- 売上高 : 476億円(前期比+5億円、伸長率+1.0%)
- 営業利益: 46億円(前期比▲0億円、伸長率▲0.6%)

- ・ 円安進行を背景とした輸入量の減少などで全国的に在庫が減少傾向となるなか、夏場の電力不足に伴う顧客の早期備蓄需要の取り込みや、地方エリアにおける運送を絡めた提案営業の強化により、搬入量・在庫率ともに高水準を確保して増収。
- ・ 電力各社の値上げ加速や燃料費調整単価の一段の上昇に伴いコスト負担が想定以上に増加したものの、増収効果や効率化の進展などにより営業利益は前期並みを確保。



※冷蔵倉庫業界12大都市は日本冷蔵倉庫協会データより作成

# 3. 事業概要(セグメント別)

選ばれつづける仕事。Nニチレイロジグループ

## ②-2 地域保管事業:トピックス

関東港湾地区の拠点整備により、シェア拡大と収益力強化を推進

### 《 東扇島物流センター 2期棟 》

2013年7月稼働



※1期棟をロジスティクス・ネットワークへ移管

### 《 川崎物流センター 》

2013年4月稼働



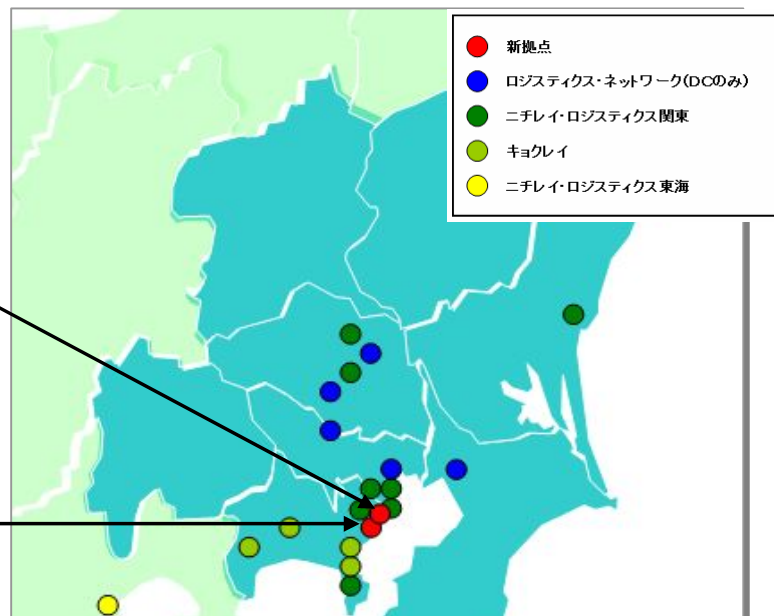
主な新設拠点(2010年以降)の状況とエリアシェアの変化

東京圏(13/3 ⇒ 14/3) (万ト)			東京・川崎地区シェア			
拠点名称	稼働開始	能力	東京・川崎地区シェア	稼働開始	能力	
東扇島DC(1期)	2011.02	4.0	9%	東扇島DC(1期)	2011.02	4.0
川崎DC	2013.04	3.2		東扇島DC(2期)	2013.07	4.0
東扇島DC(2期)	2013.07	4.0		11%		

※2013年3月末時点の地区設備能力196万トン

+4万ト

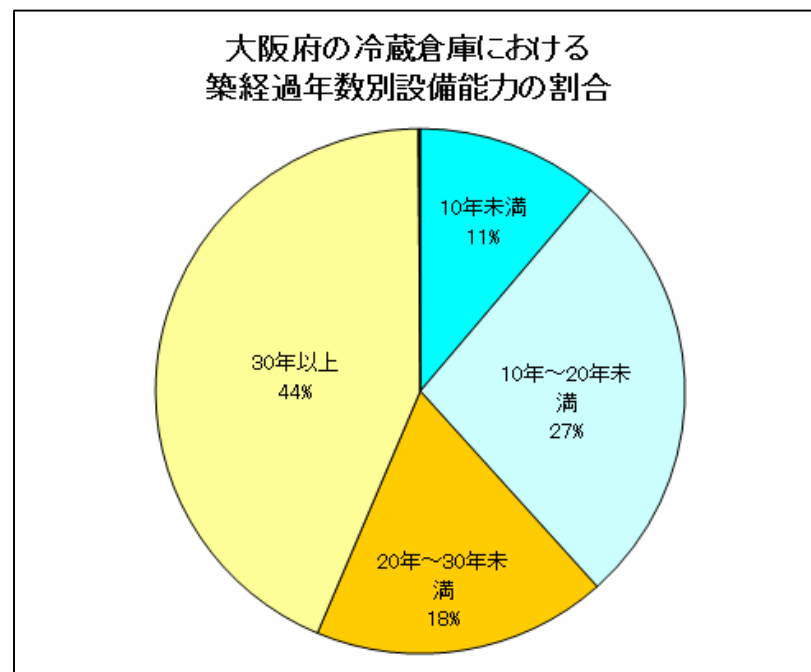
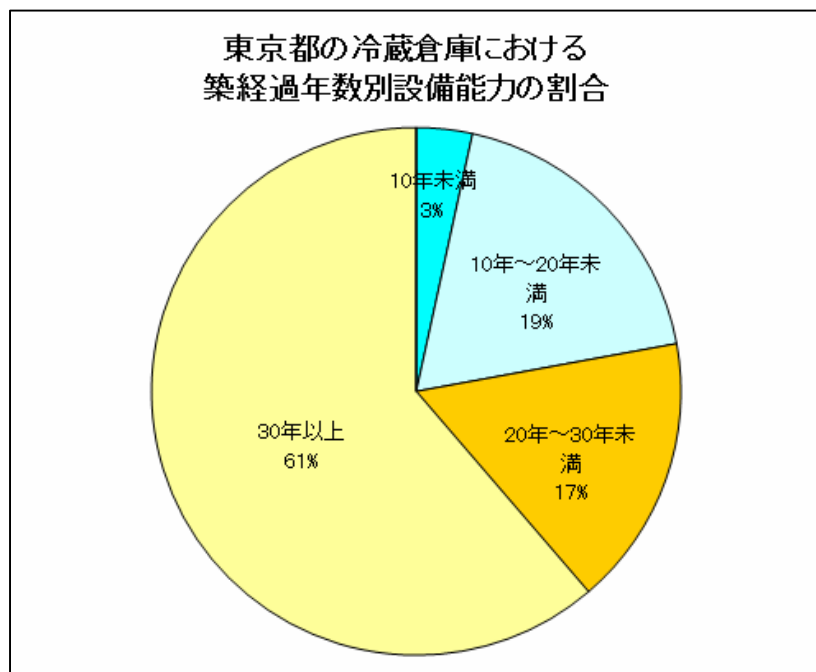
+3.2万ト



関東港湾エリアの庫腹能力を  
保管・輸配送ともに大幅増強

## ご参考

### 大都市圏における設備の老朽化が深刻な状況に



- 東京都では、築30年以上の庫腹が6割超を占める。中でも、庫腹能力の大きい東京団地冷蔵(14.8万トン、約43年)および東京水産ターミナル(26.1万トン、約37年)が深刻な状況。東京団地冷蔵については2015年春から現有地での一括建て替えに着手。2017年末稼働予定。
- 大阪府についても築30年以上が4割超。仮に今後拠点の新設が無かった場合、2020年には5割を超える。

# 3. 事業概要(セグメント別)

選ばれつづける仕事。ニチレイロジグループ

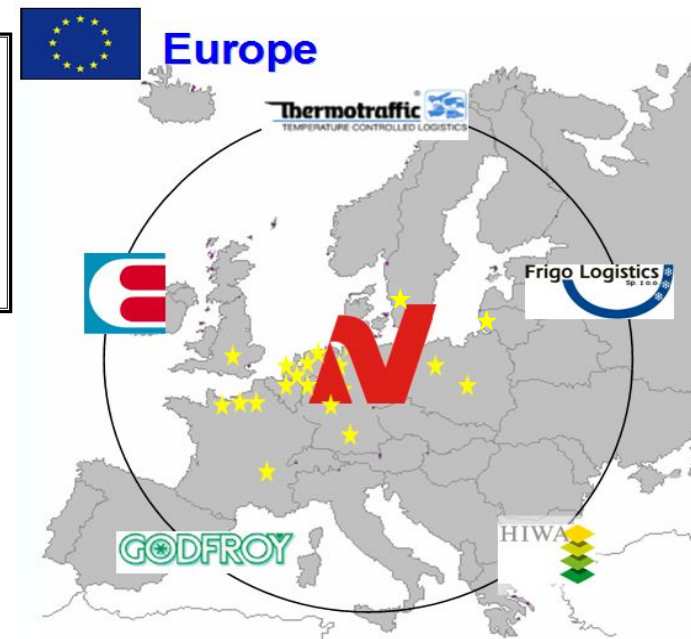
## ③-1 海外事業<欧州>

<厳しい経済環境の中、クロスボーダー輸送拡大と主力商材の取扱伸長で増収増益を達成>

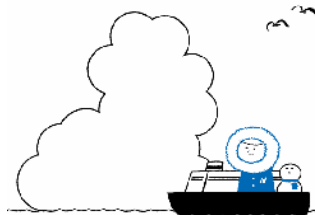
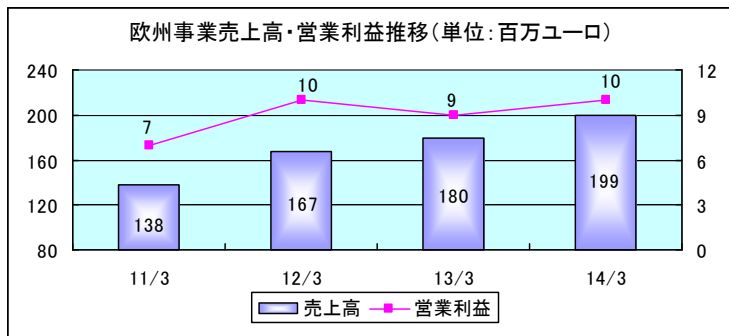
【2013年度業績のポイント】

- 売上高 : 199百万ユーロ(前期比+19百万ユーロ、伸長率+10.6%)  
(円貨換算後:258億円、前期比+73億円、伸長率+39.5%)
- 営業利益: 10百万ユーロ(前期比+1百万ユーロ、伸長率+11.1%)  
(円貨換算後:13億円、前期比+4億円、伸長率+44.4%)

- ・ Thermottraffic Germanyのロシア・東欧向けを中心としたクロスボーダー輸送の拡大、HiwaおよびEuro Frigoにおける輸入果汁・チキンなどの取扱伸長、ポーランドのFrigo Logisticsにおける小売店向け配送業務の取扱拡大などが寄与し、大幅な増収・増益を達成。
- ・ Godfroyグループの保管事業会社を1社に統合し、経営基盤を強化。

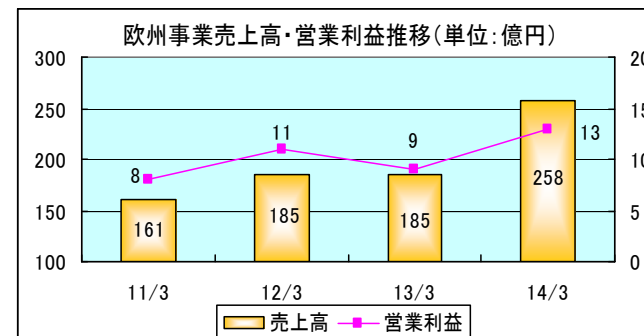


<現地通貨の売上高・営業利益推移>



※海外為替レート  
 11/3・・・EUR: 116.4、PLN: 29.2  
 12/3・・・EUR: 111.1、PLN: 27.2  
 13/3・・・EUR: 102.6、PLN: 24.6  
 14/3・・・EUR: 129.7、PLN: 30.9

(参考)<円貨換算後の売上高・営業利益推移>





# 3. 事業概要(セグメント別)

## ③-2海外事業<欧州>

<届け先は46カ国をカバーするThermottrafficを軸とした運送事業の拡大と、  
主要港口ッテルダムに位置する優位性を活かした保管系各社の下支えで成長を加速>

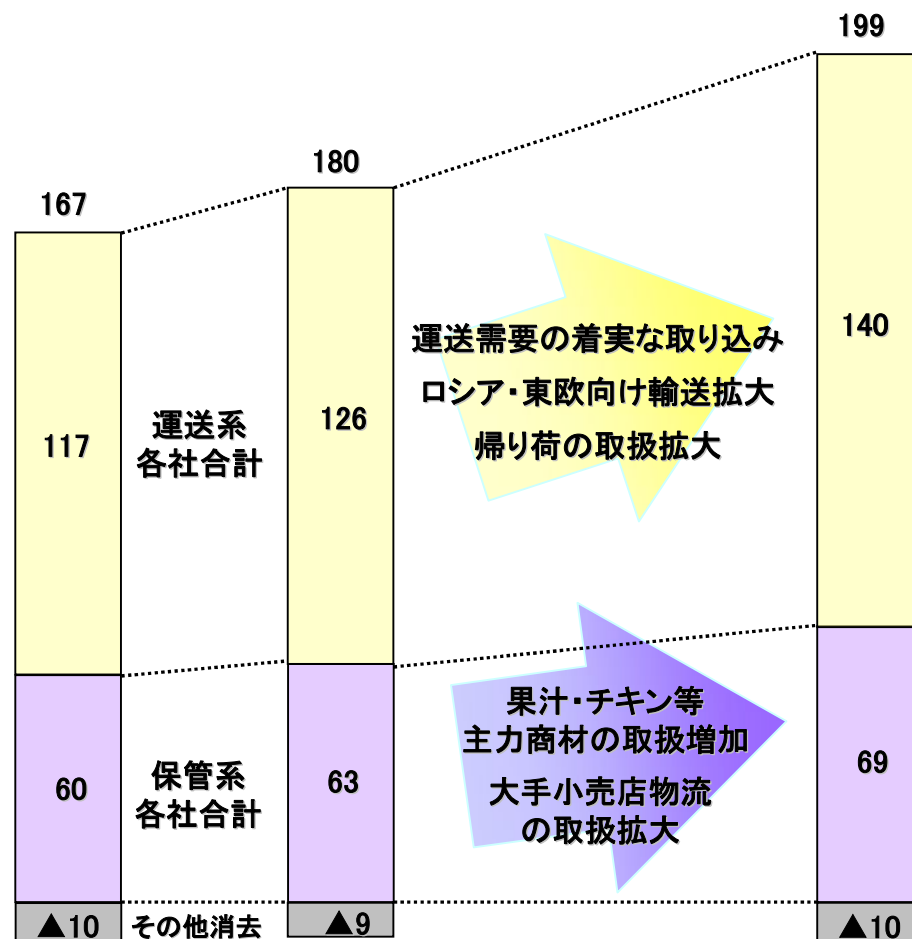
欧州各社概要

<欧州事業売上高推移>

(単位:百万ユーロ)

※2014/4/1現在

会社名	事業内容	立地(拠点または営業所)	設備能力(m <sup>3</sup> )
Nichirei Holding Holland ニチレイ ホールディング オランダ (NHH)	持株会社	オランダ、ポーランド	-
Thermottraffic Holland テルモトラフィック オランダ (TTH)	利用運送 フォワーディング	オランダ、ベルギー	-
Thermottraffic Germany テルモトラフィック ドイツ (TTG)	利用運送 フォワーディング	ドイツ、フランス、イギリス、デンマーク、 リトアニア、ルーマニア、スペイン	-
Godfroy ゴドフロア (GFR)	実運送 冷蔵倉庫	フランス	137,150
Eurofrigo ユーロフリゴ (EF)	冷蔵倉庫	オランダ	581,250
Hiwa Rotterdam port Cold Stores ヒワ ロッテルダム ポート コールド ストアーズ (HIWA)	冷蔵倉庫	オランダ	393,125
Frigo Logistics フリゴロジスティクス (FLP)	冷蔵倉庫 利用運送	ポーランド	173,750



2012年3月期

2013年3月期

2014年3月期実績

### 3. 事業概要(セグメント別)

選ばれつづける仕事。Nニチレイロジグループ

#### ③-3海外事業:トピックス

フランス・南欧の運送拡大へ、南北を結ぶ要衝リヨンに新センターを設立

##### 《 Godfroy リヨン物流センター 》

2014年1月稼働



所在地: 890, avenue Henri Schneider 69330 Jonage France

延床面積: 3,312㎡

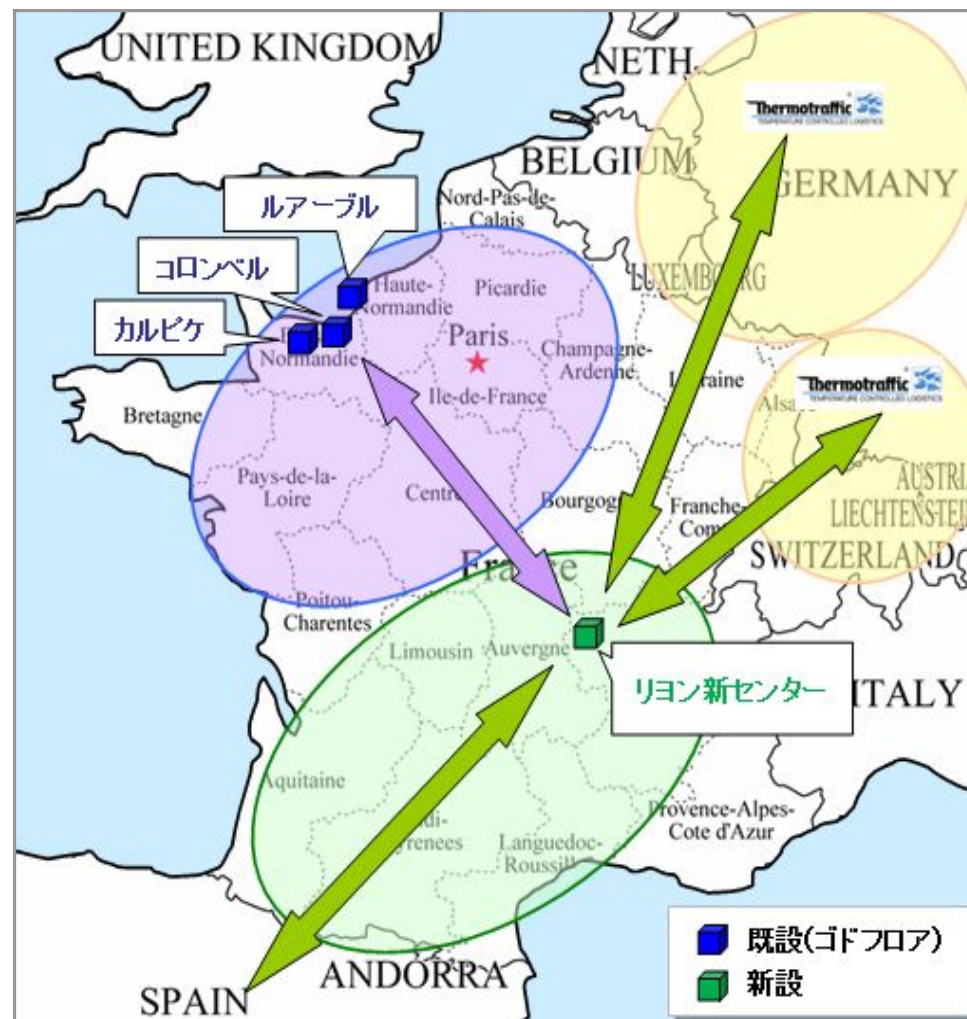
冷蔵能力: 7,670t

構造: 鉄骨造平屋建て

主要設備: 入出庫バース 8基

設備投資総額: 649百万円

欧州域内のクロスボーダー輸送を担う、  
Thermottrafficとの協業も促進



# 3. 事業概要(セグメント別)

## ③-4海外事業<中国(上海)>

<売上は伸長もコストアップ要因が重なり利益面は苦戦。運送基盤の整備は着実に進展>

【2013年度業績のポイント】

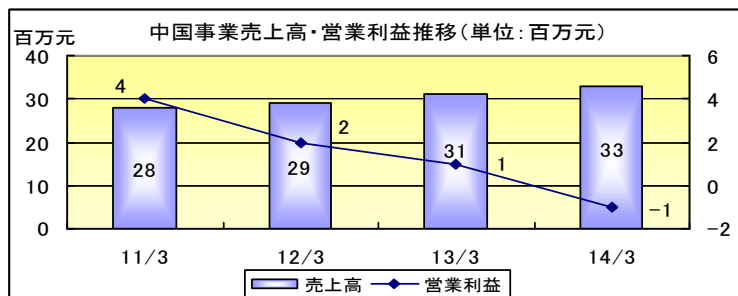
- 売上高 : 33百万元(前期比+2百万元、伸長率+6.5%)  
(円貨換算後:529百万元、前期比+131百万元、伸長率+32.9%)
- 営業利益: ▲1百万元(前期比▲2百万元、伸長率▲100.0%)  
(円貨換算後:▲14百万元、前期比▲29百万元、伸長率▲93.3%)

主力のコンビニエンスストア店舗配送業務は堅調に推移。前期に稼働した第二センターにおける保管貨物の取扱も伸長して増収を確保したものの、トラック乗務員の人件費高騰や車両調達コスト上昇の影響が大きく、利益面では前年比マイナス。現在、業務改善推進中。

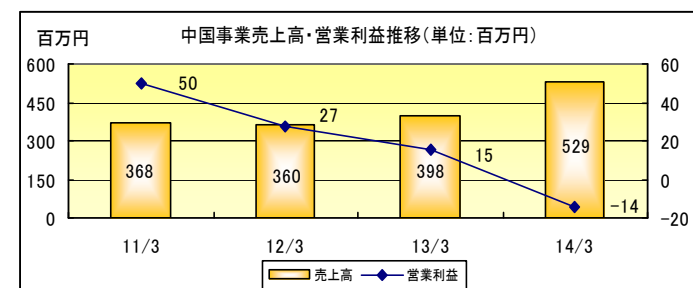
上海市内に加えて華東地区への配送網を拡大。長距離幹線輸送の取扱も着実に伸長。



<現地通貨の売上高・営業利益推移>



(参考)<円貨換算後の売上高・営業利益推移>



※海外為替レート 11/3...CNY:13.0、12/3...CNY:12.4、13/3...CNY:12.7、14/3...CNY:15.9

### 3. 事業概要(セグメント別)

選ばれつづける仕事。ニチレイロジグループ

## ③-5海外事業<ASEAN(タイ)>

<グループの将来的な成長・拡大に向けて、東南アジア展開の礎となるタイ王国に進出>

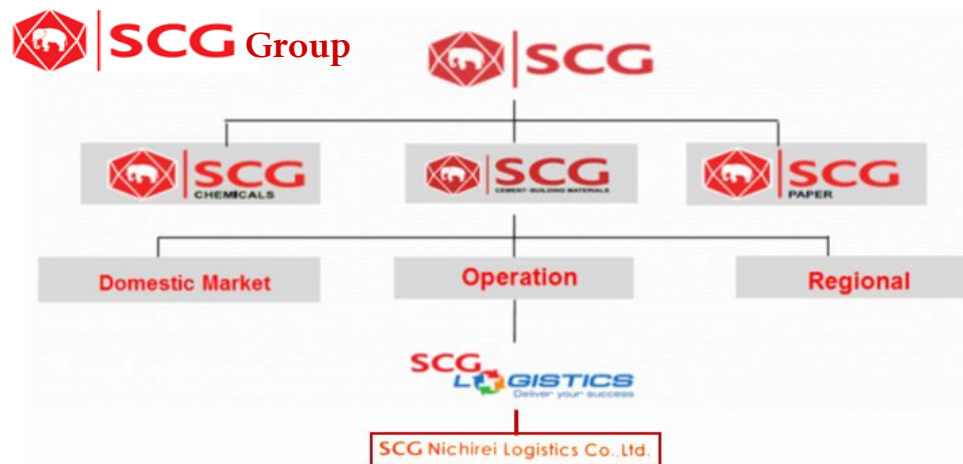
### SCG Nichirei Logistics Co.,Ltd.



商号 : SCG Nichirei Logistics Co.,Ltd  
本社所在地 : 1 Siam Cement Rd., Bangsue, Bangkok  
10800, Thailand  
(物流センター完成後、センター内へ移転予定)  
資本金 : 570百万タイバーツ  
出資比率 : SCGL 51%、  
ニチレイロジグループ本社 49%  
事業内容 : 冷蔵倉庫業、利用運送業、実運送業、通関業

### 【タイ事業 進捗状況】

2013年 4月 SCG Logistics Management社と合併契約を締結  
同 6月 会社設立登記完了  
同 7月 運送ライセンス取得、輸配送業務を開始  
同 11月 物流センター建設工事着工  
2014年 10月 物流センター稼働予定



- ・タイ王室財務局が約3割出資
- ・グループ売上高 : 1兆3,809億円(2013年12月期)
- ・タイ以外のASEANでも事業を展開
- ・低温物流分野以外では50社以上の日系企業と長期にわたる合併実績あり

### 3. 事業概要(セグメント別)

選ばれつづける仕事。Nニチレイロジグループ

#### ③-6海外事業:トピックス

2013年7月にタイで輸配送業務を開始、品質重視で緻密な日本式サービスを提供

##### SCG Nichirei Logistics Co.,Ltd.



- ・ 当初はトラック5台で業務を開始し、現在は12台体制に拡大。
- ・ 現地系メーカー2社の業務を受託。納品時間や配送温度の順守率、受領書の当日回収率などのKPIを設定し、顧客とともに毎月の達成状況をモニタリングして継続的な改善を実施。
- ・ 配送管理センターでは、モニターを通じて配送車両全ての運行状況を把握。位置情報だけでなく、リアルタイムで庫内の温度状況も確認。アラート機能で設定温度・設定速度の超過や長時間の連続運転などを防止。

##### <SCG Logistics 配送管理センター>

###### ・センター内の様子



###### ・速度モニターおよび温度モニター



###### ・アラート表示画面



## Ⅱ. 2014年3月期 決算概要

# 1.決算概要

## ①2013年度事業収支<連結>

### ニチレイロジグループ連結

単位：億円、端数四捨五入、（ ）内利益率

	前期	当期	前期比 (%)
売上高	1,564	1,684	7.7
営業利益	(5.5%) 86	(5.3%) 89	4.4
経常利益	(4.8%) 75	(4.1%) 69	△ 8.1
税引前利益	(4.6%) 72	(3.9%) 66	△ 9.2
当期純利益	(2.7%) 43	(2.1%) 35	△ 17.1

※利益率は1円単位で計算

# 1.決算概要

## ②2013年度事業収支<セグメント別>

(単位：百万円)

		前期	当期	前期比	増減率(%)
売上高	物流ネットワーク	88,427	92,225	3,797	4.3
	地域保管	47,108	47,595	487	1.0
	海外	18,873	26,331	7,457	39.5
	その他	1,940	2,209	268	13.8
	合計	156,350	168,361	12,010	7.7
営業利益	物流ネットワーク	3,816	3,655	△160	△4.2
	地域保管	4,617	4,591	△26	△0.6
	海外	720	1,096	375	52.1
	その他・共通	△591	△406	184	—
	合計	8,562	8,936	373	4.4



# 1.決算概要

## ③財務指標等

### 財務指標に関する分析

		前期末	当期末
総資産	百万円	131,455	139,843
負債	百万円	74,381	77,751
うち、有利子負債	百万円	50,022	51,849
うち、有利子負債（リース債務除く）	百万円	30,667	33,352
純資産	百万円	57,074	62,091
D/E比率	倍	0.9	0.8
D/E比率（リース債務除く）	倍	0.5	0.5
自己資本比率	%	43.2%	44.2%
売上高	百万円	156,350	168,361
当期純利益	百万円	4,274	3,543
自己資本利益率（ROE）	%	7.8%	6.0%
総資産利益率（ROA）	%	3.3%	2.6%
総資産回転率	倍	1.2	1.2

注1：D/E 比率の算出方法：有利子負債÷純資産（少数株主持分を除く）

# 1.決算概要

## ④設備投資等

設備投資等の状況

(単位：百万円)

資本的支出		減価償却費	
当期支出額	うち、リース資産除く	当期償却額	うち、リース資産除く
11,442	9,011	9,026	5,800

(参考) リース資産を除いた設備投資等の状況

(単位：百万円)

設備投資			減価償却費		
前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
5,689	8,917	3,227	5,542	5,800	258

〈主な設備投資〉

(単位：百万)

完了年月	会社名 事業所名	所在地	設備の内容	設備投資総額	当期計上額 (既計上額)	完成後の増加能力
平成25年 8月	㈱ニチレイ・ロジスティクス関東 東扇島物流センター 第2期棟	川崎市 川崎区	物流センターの増設	5,609	4,026 (5,069)	延床面積 40,787t
平成26年 1月	Entrepots Godfroy S.A.S リヨン物流センター	フランス ローヌ県	物流センターの新設	649	628 (649)	冷蔵 7,670t
平成26年 10月(予定)	㈱ニチレイ・ロジスティクス関西 咲洲物流センター	大阪市 住之江区	"	※8,986	1,707 (3,698)	冷蔵 40,400t
平成26年 11月(予定)	㈱ニチレイ・ロジスティクス北海道 十勝物流センター	北海道 音更町	"	※1,134	151 (151)	冷蔵 8,140t

注1：上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

注2：「設備投資総額」の※は、計画数値であります。

〈設備投資等の見通し〉

平成27年3月期

(単位：百万円)

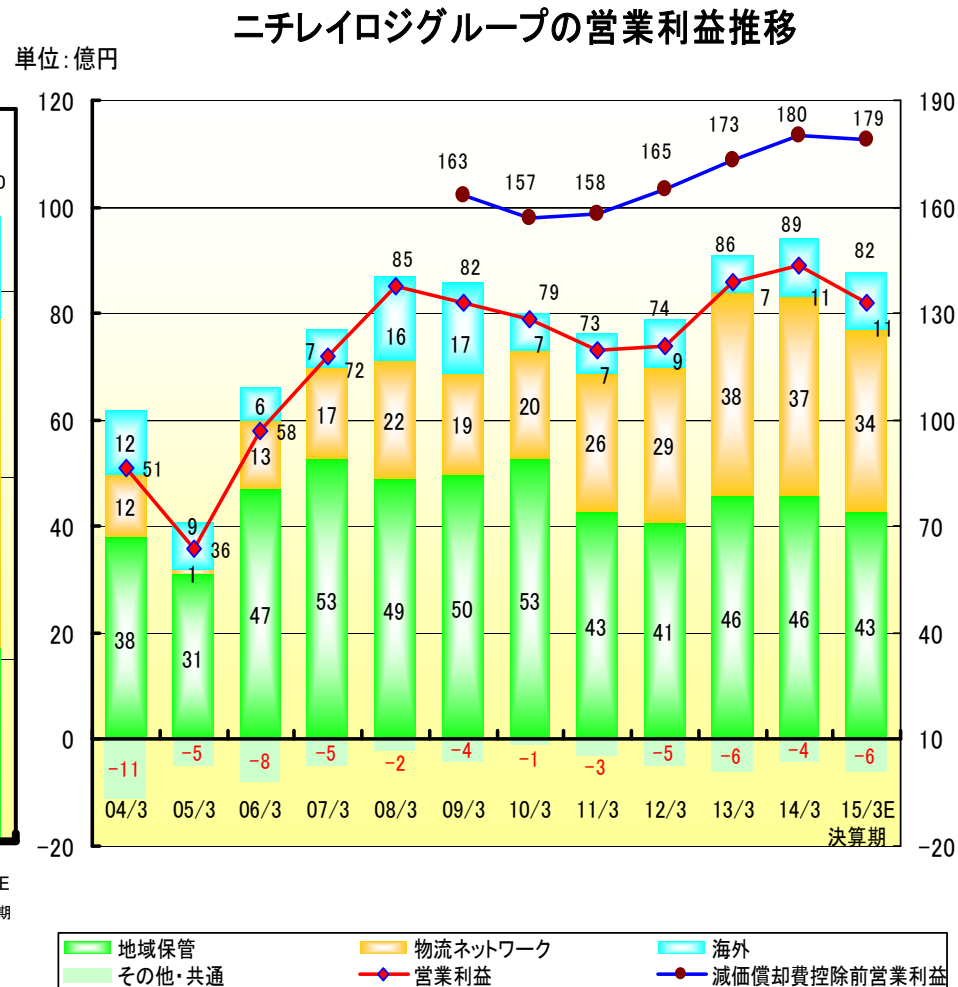
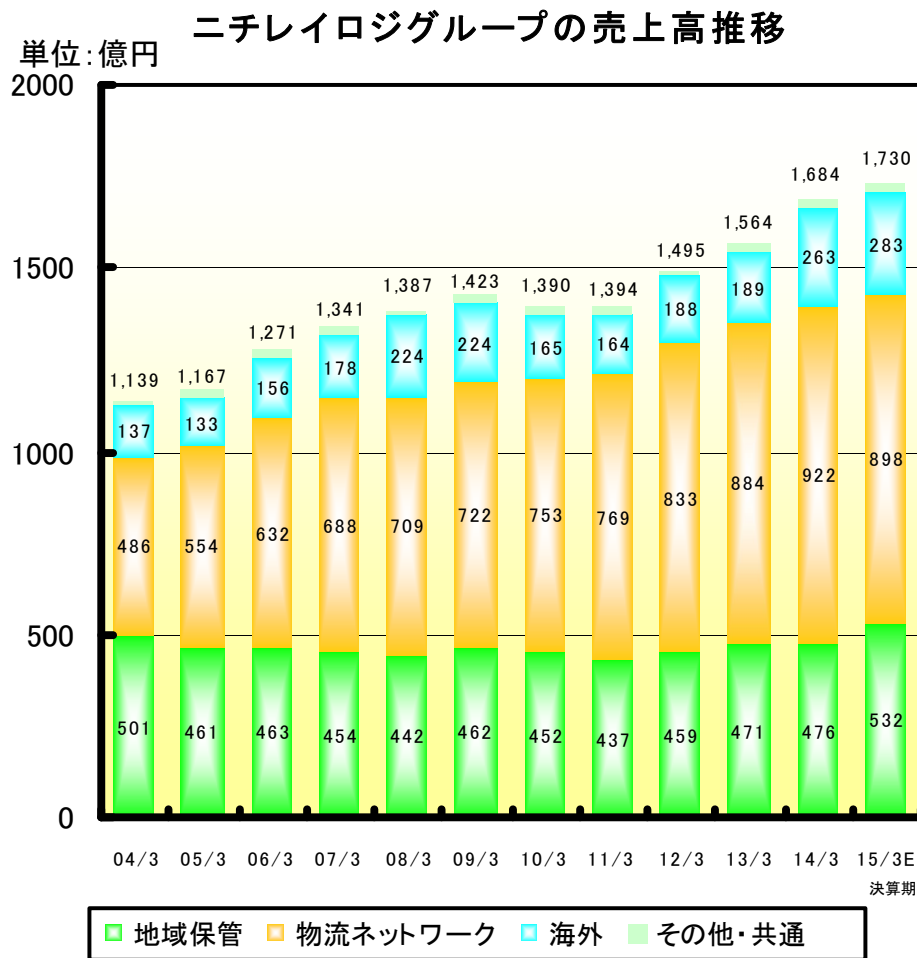
資本的支出	16,259
設備投資	15,833
減価償却費	9,611

リース資産を除く設備投資見通し

資本的支出	13,301
設備投資	12,990
減価償却費	6,180

# 2.業績の推移

## ①売上高及び営業利益の推移



## Ⅲ. 中期経営計画の進捗状況と2014年度の重点施策

# 1. 中期経営計画の進捗状況

## ① 中期経営計画初年度における成果と課題

＜厳しさを増す環境の中で着実に事業基盤の強化を進めた一年ながら、残る課題も多い＞

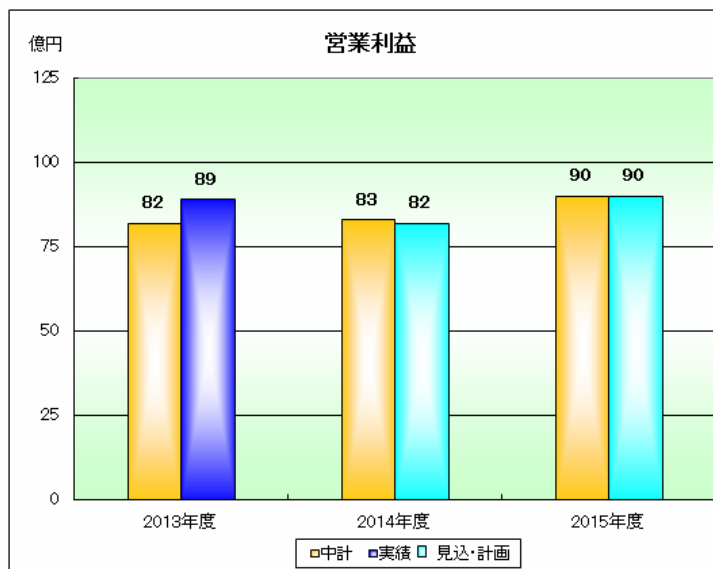
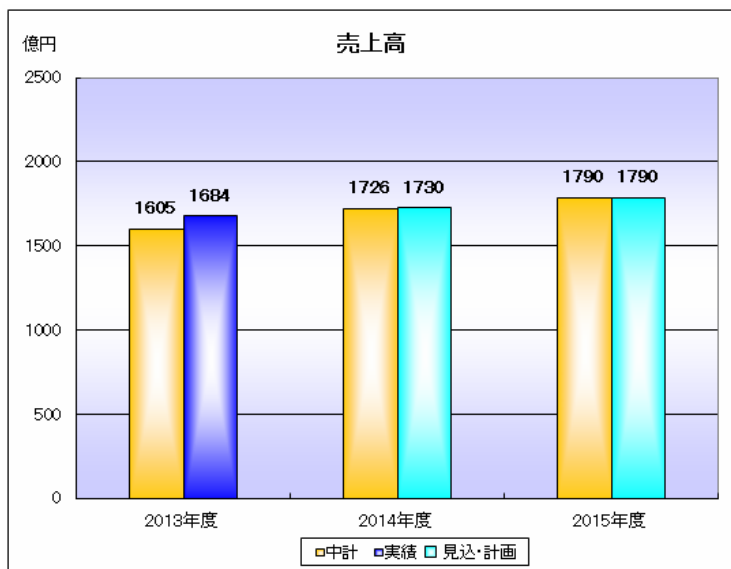
単位：億円		2013年度 (実績)	2012年度 (実績)	前年比	2013年度 (中計)	中計比
売上高	グループ合計	1,684	1,564	+120	1,605	+79
	物流ネットワーク事業	922	884	+38	885	+37
	地域保管事業	476	471	+5	482	▲6
	海外事業	263	189	+75	220	+43
	その他	22	19	+3	18	+4
営業利益	グループ合計	89	86	+4	82	+7
	物流ネットワーク事業	37	38	▲2	33	+4
	地域保管事業	46	46	▲0	45	+1
	海外事業	11	7	+4	8	+3
	その他・共通	▲4	▲6	+2	▲4	+0

- 【成果】**
- ・ 新規TC案件の受託や幹線輸送の取扱伸長、3PL事業の新規顧客獲得などによる売上の拡大
  - ・ 旗艦拠点東扇島物流センター、川崎物流センターの稼働による関東港湾地区の収益基盤強化
  - ・ クロスボーダー輸送拡大を核とした欧州事業の成長加速
  - ・ 将来的な成長・拡大に向けたタイへの進出と輸配送業務の稼働
- 【課題】**
- ・ 電力料金や車両調達費用の高騰に伴うコスト負担の増加
  - ・ アンバランスな輸配送型拠点配置による運送事業の拡大遅れ
  - ・ 需要拡大が見込める大都市圏における拠点不足に伴う庫腹逼迫と機会損失
  - ・ 貨物の大都市圏集中による地方エリアの空洞化進行
  - ・ 今後のASEAN展開の礎となる、タイにおける確固たる事業基盤の確立

# 1. 中期経営計画の進捗状況

## ② 今後の目標数値と重点戦略

＜輸配送および海外事業の拡大を中心に低温物流ネットワークをさらに強化、  
物流ニーズの取り込みを加速させる＞



14/3期 営業利益	89
減益要因	-15
新增設に伴う償却増影響	-5
電力料増	-4
輸配送コスト増	-6
増益要因	8
運送事業効率化	2
新增設に伴う利益増	2
業務改善効果	3
為替影響	1
15/3期 営業利益見込	82

※海外為替レート

中期経営計画 (EUR: 120.0、PLN: 30.0、CNY: 15.0)、2013年度実績 (EUR: 129.7、PLN: 30.9、CNY: 15.9)、2014年度見込 (EUR: 135.0、PLN: 33.0、CNY: 17.0)

### 【重点戦略】

- ・ 電力料金や車両調達費用の高騰に応じた適正料金の收受
- ・ 関西港湾地区の拠点整備による運送拡大と収益力強化
- ・ 従来輸配送需要の取り込みが遅れていた地域における、組織再編を通じた本格的な運送事業の拡大
- ・ 新拠点稼働を契機とするタイ事業の積極的な拡大

# 2. 2014年度の重点施策概要

選ばれつづける仕事。ニチレイロジグループ

## ①-1 国内事業 < 関西 >

### 関西港湾地区の拠点整備により、運送拡大と収益力強化を推進

ニチレイ・ロジスティクス関西 咲洲物流センター

2014年10月稼働予定



主な新設拠点(2010年以降)の状況とエリアシェアの変化

大阪圏 (13/3 ⇒ 15/3)

拠点名称	稼働開始	(万ト)	
		稼働開始	能力
北港DC	2010.02		2.0

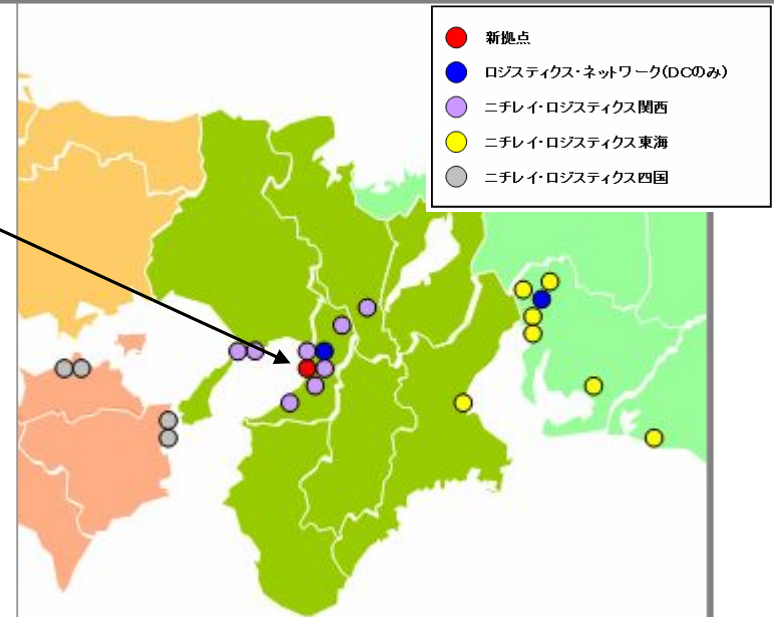
拠点名称	稼働開始	(万ト)	
		稼働開始	能力
北港DC	2010.02		2.0
咲洲DC(仮称)	2014.10(予定)		4.0

大阪港湾地区シェア 20%

大阪港湾地区シェア 22%

※2013年3月末時点の地区設備能力74万トン

+4万ト



所在地: 大阪市住之江区南港中  
 土地面積: 23,540㎡  
 冷蔵能力: 40,400t(予定)  
 構造: 鉄筋コンクリート造5階建て  
 免震構造  
 投資金額: 8,986百万円(計画数値)  
 着工: 2013年10月  
 稼働: 2014年10月(予定)



関西港湾エリアの庫腹能力を増強  
 同時に関西地区輸配送拠点の活用も促進

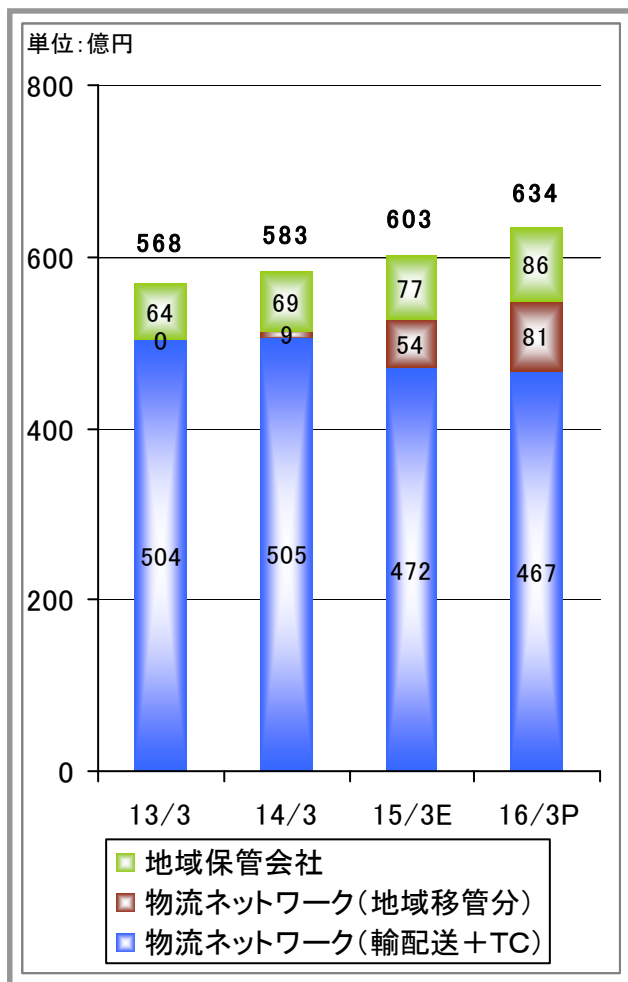
## 2. 2014年度の重点施策概要

選ばれつづける仕事。ニチレイロジグループ

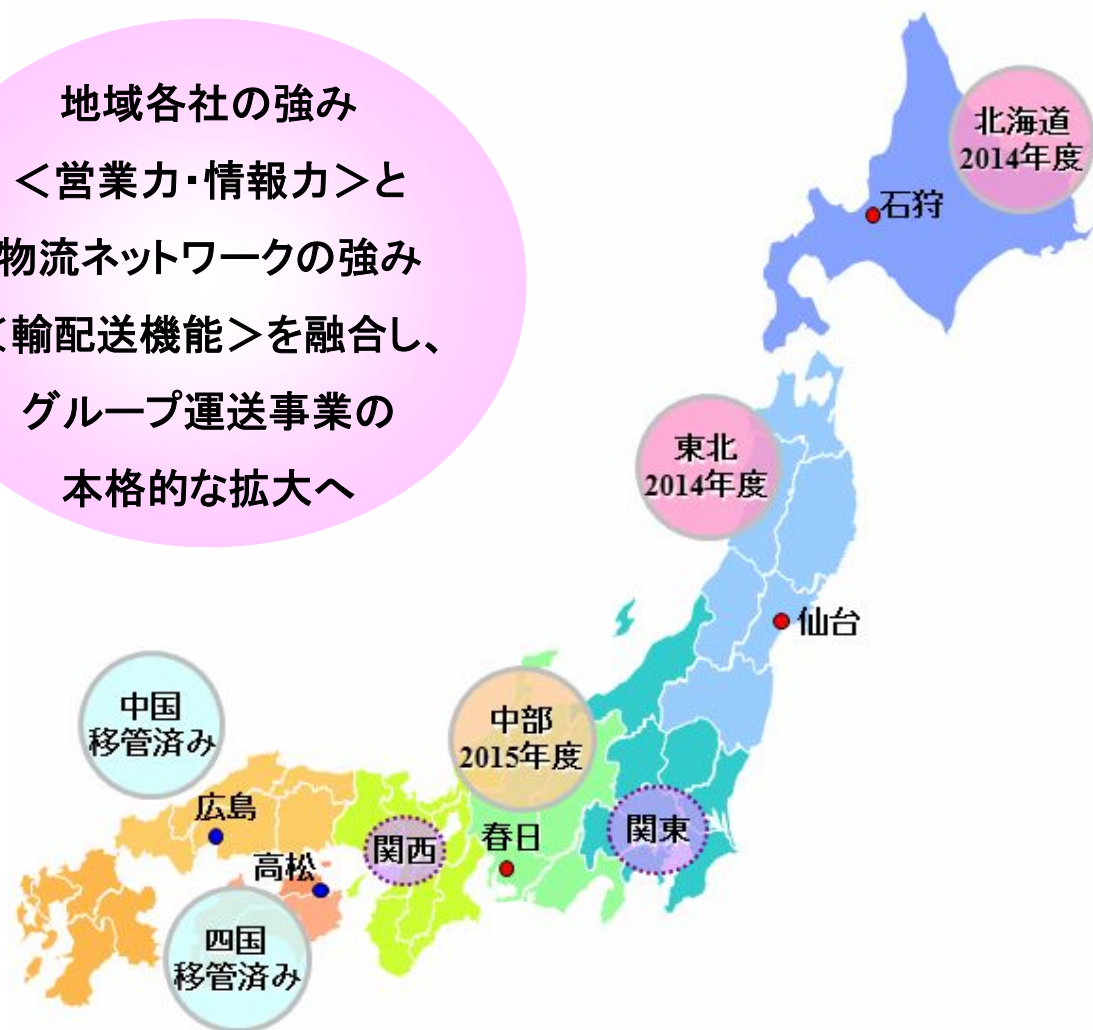
### ①-2国内事業<地方エリア>

地方エリアにおいては組織再編を通じて本格的な運送拡大に取り組む

#### < 運送売上高推移 >



地域各社の強み  
 <営業力・情報力>と  
 物流ネットワークの強み  
 <輸配送機能>を融合し、  
 グループ運送事業の  
 本格的な拡大へ





## 2. 2014年度の重点施策概要

選ばれつづける仕事。Nニチレイロジグループ

### ①-3国内事業<北海道>

道内運送事業の拡大と規制強化への対応を両立させる、十勝物流センター着工

ニチレイ・ロジスティクス北海道 十勝物流センター

2014年11月稼働予定



所在地:北海道河東郡音更町

土地面積:15,060㎡

延床面積:5,465㎡

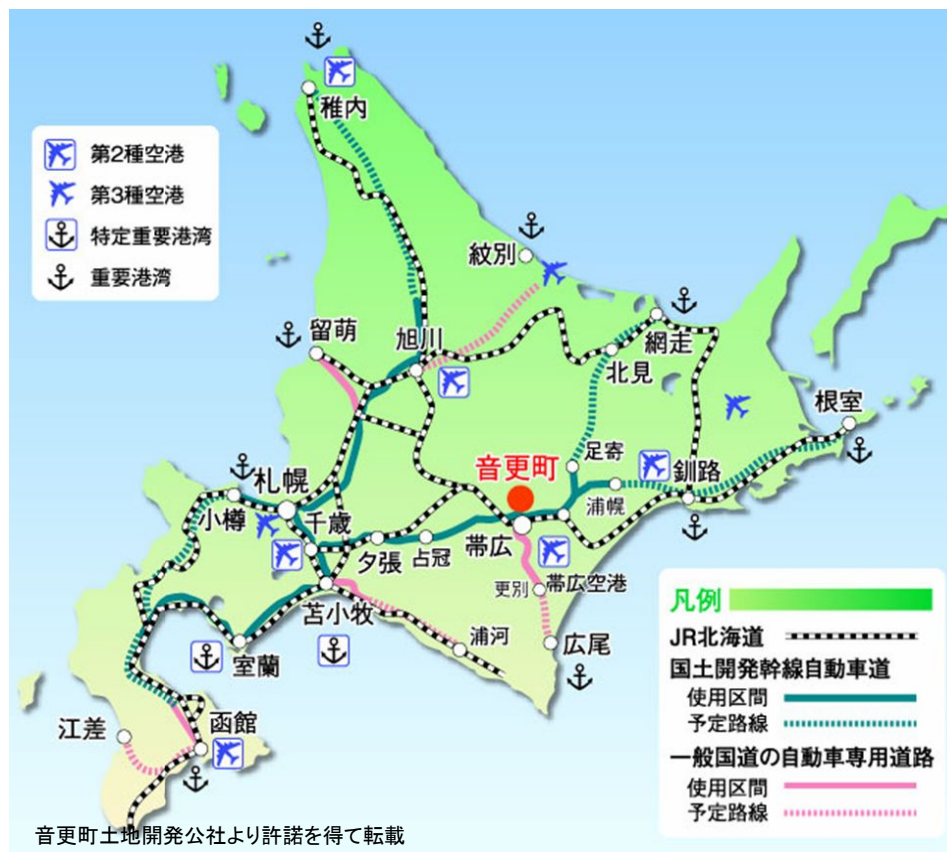
冷蔵能力:8,140t(予定)

構造:鉄骨造平屋建て

設備投資総額:1,134百万円(計画数値)

着工:2014年4月

稼働:2014年11月(予定)



地域産品の開拓による幹線輸送拡大と  
道東方面への輸配送の効率化を推進

## 2. 2014年度の重点施策概要

選ばれつづける仕事。ニチレイロジグループ

### ②海外事業<タイ>

#### 東南アジア展開の礎となる、タイ王国に冷蔵倉庫を新設

SCG Nichirei Logistics Co.,Ltd.



所在地: 173 Moo 16, Bang Saothong, Samutprakarn, Thailand

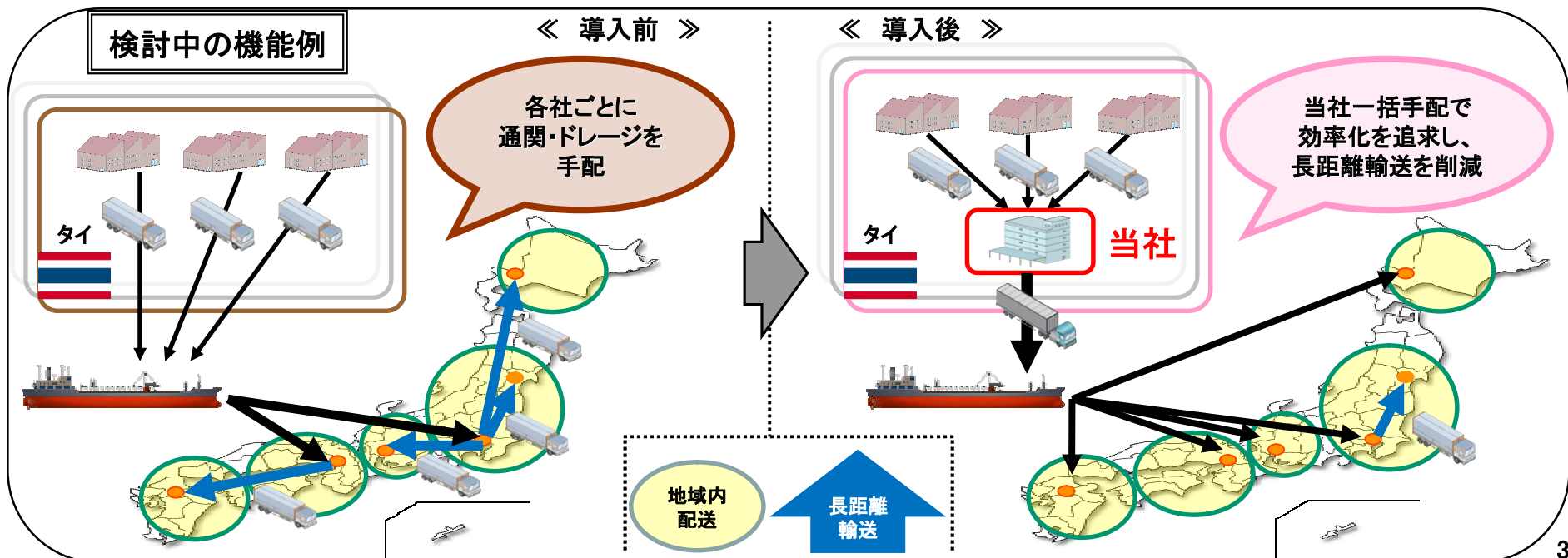
土地面積: 37,800㎡ (増設余地16,000㎡含む)

冷蔵能力: 22,800t (増設可能能力15,000t)

主要設備: LED照明、陽圧装置、クラウド型倉庫管理システム 等

着工: 2013年11月

稼働: 2014年10月(予定)



## 《注意事項》

この説明資料に記載されている当グループの現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。

将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られた当グループ経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、経済情勢および業界環境、為替レート変動、品質保証体制確立の実現性、新サービスの実現性、成長戦略とローコスト構造の実現性、当グループと他社のアライアンス効果の実現性、偶発事象の結果、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響など、リスクや不確実な要素を含んでおりますので、業績見通しのみ全面的に依拠して判断されることは、お控えいただきますようお願いいたします。